

i

私らしく、  
僕らしく。

NO.25 TRAVAIL 6.20 2001 210YEN

# とらばーゆ

●この一言が、たまらないっ!  
「ありがとう」がウレシイ仕事

- 会社によって、けっこう違う。オフィスワークいろいろ特集
- はじめての仕事も、再就職も。派遣スタッフで働こう



あなたにもウレシイ気持ちをおすすめ分け...

## 仕事でもらった「ありがとう」の物語

パソコンゼロ、販売・営業からでも大丈夫 ぜんぜん未経験から事務になる方法  
結婚する・しない、働き続ける・辞める。型コースでこんなに違う!

[ワタシの人生] 収支決算シミュレーション

今週の求人特集 「ありがとう」が嬉しい仕事特集

オフィスワーク特集 人材派遣特集

埼玉・都内北部沿線エリア特集 美容・接客/総務・営業・京成・東西線エリア特集

とらばーゆ・Net <http://www.recruit.co.jp/HR/TR/>

求人情報の内容が実際と反していた場合はトラブルホットラインへ0120-110-288  
求人情報掲載のお問い合わせ 0120-40-1166

RECRUIT



ツアーに出発するときは、バスに車イスを積み込むのも伴流さんの仕事。月の半分以上は、バリアフリー旅行で国内、海外へ。



車イスの背中から、「ありがとう」が聞こえる。世界地図を塗りつぶしながら、感動を広げたい  
伴流高志さん(30歳)

近畿日本ツーリスト(株)クラフトツアーリズム  
バリアフリー旅行センター フレンドリースタッフ

「ありがとう」っていう言葉には、人を幸せにする力があると思う。それは、自分が誰かの役に立っているというささやかな証だから。たくさんの「ありがとう」に出会うほど、人生は豊かになる。今回取材した5人の話を聞いて、そう思った。旅行の企画・添乗・介護・営業・接客。さまざまな仕事で出会った「ありがとう」のかけがえのない物語

取材・文/丸山佳子  
撮影/中野孝子

# 「仕事でももらった ありがとう」の物語



高齢者や障害者が楽しめる旅行  
それを実現できて、  
たくさんの感動に出会ってる



派遣スタッフも企業もハッピー  
になる提案をしたい。人生は  
幸せになるためにあるのだから



「ありがとう」って、幸せな  
人生をつくる言葉だと思う。  
介護の仕事に転職してわかった



お客さまの「楽しかったよ」  
という笑顔が、私の仕事と  
毎日を楽しくしてくれた



仕事の「ありがとう」は、  
私の財産

# Takashi Banryu



写真上は、今年4月の砺波チューリップ公園と温泉ツアー。「車イスの方が温泉を楽しんでくれたことが忘れられない」と伴流さん。右は昨年エジプトツアー。ピラミッドの前での感動の記念写真だ。



参加者の不安を取り除くために、事前の旅行説明会も行う。車イスの貸し出しはもちろん、伴流さんはステッキや杖や風呂用の手すり、段差用の発泡スチロールのブロックを持ってツアーをサポート。



世界地図を少しずつ塗りつぶしていきたい。まだ、バリアフリー旅行を企画していない国はたくさんあるんです。もっと多くの人に知ってもらうことが大切なので、今はバリアフリーホテルなどの情報をまとめた自分のホームページも作成中です。将来は、高齢者や障害者が便利に使える商品の開発に携わっていきたい。

◀◀ next back ▶▶

1970年神奈川県生まれ。乙女座  
23歳：子どものころから地理で、大学では経営学部でミミを学ぶ。大学卒業後、社に就職。企画を担当。  
24歳：老人ホームにいる祖母をたことがきっかけで、旅行に興味を持ち、調べ始める。  
26歳：当時、業界で唯一、バリアフリー旅行のパッケージツアーだった近畿日本ツアーのクラブツーリズムに転職。社員となり、バリアフリーの企画・添乗業務を担当。  
29歳：2年間の通信講座修了。験を受け介護福祉士の資格取得。  
30歳：福祉住環境コーディネーターの資格取得。添乗先などでアドバイスも行っ



雪上と砂浜、両用の車イス。「スキーツアーで雪上を走ったときは、お客さまの背中から感動が伝わってきた」と伴流さん。

4名。今回は、バリアフリー旅行で初めてのトルコツアーでした。車イスで利用できるトイレがどこにあるか、観光地の段差はどうか。事前調査が大変でしたけど、皆さん、すごく喜んでくださいましたね」

高齢者や障害者を対象としたバリアフリー旅行を広めていくこと。それが伴流さんの夢だ。きっかけは、「車イスになつたら、旅行できないね」とつぶやいた祖母の姿だったという。

「高齢者でなくても、ある日突然、事故で車イスの生活になることはある。旅行したいのに、車イスだとできないのは、おかしいですよ。調べてみると、欧米に比べて日本の障害者旅行はひどく遅れていたんです。自分を含め、旅行会社は何をやっていたんだと思いましたね」

お客さまが求めているなら、作ればいい。当時、旅行会社で企画を担当していた伴流さんは会社に提案した。けれども、答えは「採算が合わない」。八方ふさがりで悩んでいたとき、国内で唯一、バリアフリー旅行を行っている今の会社の契約社員募集広告が目にとまった。「バリアフリーで働きたいんです。それ以外なら、金額を出さないでください」。面接ではそう言ったという。転職したのは97年7月。今度は、企画から添乗までが伴流さんの仕事となった。

## 「これが最後の旅行」その言葉の深さに動かされて

「実を言うと、添乗には抵抗があったんです。出入国カードはご自分で書いていただくことになつているのに、一般のツアー

フリー旅行では違っていた。マヒがあつて手の不自由な方でさえ、「これも旅行の楽しみのひとつですから、自分で書きます。その代わり、時間がかかってもいいですか」と、一生懸命に書いていた。「これが最後の旅行になるかもしれないから」と、真剣に参加して下さっているんです。こういう人たちに、心から喜んでもらえるツアーを増やしていきたい！ 初めに添乗したときの思いは、今でも忘れられないです」

本心に信頼されるバリアフリー旅行の添乗員を目指したい。そう考えた伴流さんは、社外のサークルに参加し、障害者のフリー旅行などにもボランティアで添乗してきました。介護福祉士、さらに福祉住環境コーディネーターの資格も取った。

「この前、飛騨高山のツアーに添乗したんです。車イスの方は入浴時の転倒が怖いから温泉に入るのを躊躇される。介護福祉士の資格を持っているので、介助させていただきます」と言っても、1日目、2日目はダメでした。ところが最後の3日目「お願いできますか」と言ってくれたんです。僕も緊張したけれど、「温泉はいいですね。何年ぶりだろう」と満面の笑みを見せてくれた。今までやってきたことが報われた、と思いましたね。車イスでも温泉に入り、雪の上や砂浜を散歩し、海外に飛び立つことはできる。車イスを押している、皆さんの感動が伝わってくるんです。今、心の中で新しい扉が開いているんだな」と感じる時がいちばんうれしいです」

# プロかどうかは仕事が決める。

株式会社パソナソフトバンクは、8月1日より、「株式会社プロフェシオ」に社名変更いたします。

狂言の世界では、お客さまの自然の反応こそが舞台に対する評価だという。それは当然のことながら、自分の仕事に対する評価ということだろう。しっかりとプロ意識をもち、その責任を常に行動であらわすこと。あなたは、あなた以外の人間になる必要などありません。なぜなら自分の仕事では、誰もが主役を演じることになるからです。



イメージキャラクター「和泉流二十

## 登録随時受付中

- 銀座 ☎0120-878950
  - 渋谷 ☎0120-878905
  - 大手町 ☎0120-878925
  - 立川 ☎042-526-8827
  - 横浜 ☎0120-022189
  - 川崎 ☎044-246-8815
  - 厚木 ☎046-222-2442
  - 千葉 ☎047-437-6590
  - さいたま ☎048-645-6960
  - つくば ☎0298-55-3371
  - 高崎 ☎027-321-5621
  - 新宿本社 ☎03-5352-8855
- ※ご希望の勤務地にかかわらず、お近くのオフィスへどうぞ
- お仕事相談ダイヤル(新宿本社)**  
☎0120-106987

## 株式会社 パソナソフトバンク

本社：〒151-8517東京都渋谷区代々木2-1-1新宿メインスタワー TEL.03-5352-8800 (代) FAX.03-5352-8811  
 ◆金融事業部 ☎03-3215-8989 ◆アウトソーシング事業部 ☎03-5537-0201 ◆IT事業部 ☎03-5352-8889  
 ◆人材紹介事業部/大手町人材センター ☎03-5221-8441 人材派遣業(般13-07-0184)

総合インフォメーション&お仕事情報は毎日更新 ホームページからの登録予約も受付中  
<http://www.pasonabank.com>

●本誌内人材派遣ページの弊社広告も併せてご覧ください。

新規登録された方に、いまだけの特典

## 無料PC講座開催

パソコン初心者向けのコースから  
 実務に活かせるPowerPoint、Access等15コースをご  
 マンツーマンで受講できる個人レッスンもあります！  
 お問い合わせ◎新宿本社 ☎03-5352-8855 銀座支店 ☎03-5568-405

